



## 【4月のおもな行事】

- 1 (月) 対面式※新入園児は終了後降園となります。
- 5 (金) 地域ふれあいデー
- 18 (木) 防災訓練
- 19 (金) 法人新任者研修
- 23 (火) ~ 25 (木) こいのぼり行進

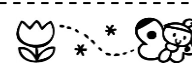

- 25 (木) おたのしみ会
- 26 (金) 法人職員行事
- 27 (土) ひまわりクラスむかばき親子登山

※4月28~30日, 5月2・3日は休日保育有り  
休日保育は事前予約が必要です。予約は定員になり次第締め切らせていただきます。

**弁当日 4月5日(金)**

**保育料口座振替25日(木)**

## 活動計画

月のことば そよそよ春風ふいてきて お花も虫も踊り出す 心うきうき こぼとの広場			
生活・活動のめあて 喜んで登園し、新しい担任や生活に慣れ親しみ、お友達と楽しくあそぼう			
内容	ひまわり	ばら	すみれ
活 動 内 容	詩・言語 百人一首 黄札	詩・言語 「はるのうた」	詩 「あいうえおのうた」 中川ひろたか
	うた 「春がきたんだ」「ことりのうた」「お花がわらった」「こいのぼり」「手のひらを太陽に」		
	絵本 月刊絵本 『おおきなかぶ』	絵本 月刊絵本 	絵本 月刊絵本 
	硬筆 (5月から始まります)	楽器 カスタネット 曲にあわせて3拍子・4拍子のリズムをとろう	楽器 歌にあわせて手拍子を打とう (3拍子・4拍子)
	楽器 打楽器リズムあそび ドレミ音階あそび	さくらさくらんぼ うさぎ うま 両生類 かめ	さくらさくらんぼ うさぎ うま 両生類 かめ
予想されるあそび ・こいのぼりづくり ・ファミリーデイ制作	予想されるあそび ・こいのぼりづくり ・ファミリーデイ制作	予想されるあそび ・こいのぼりづくり ・ファミリーデイ制作	
生活習慣 生活に必要な決まりや習慣を確認し、守りましょう	生活習慣 新しいクラスやロッカー、靴箱の場所を確認し、身の回りの整理整頓をしよう	生活習慣 保護者や保育士と一緒に、朝の支度や物の片付け場所を確認し、覚えよう	
英語・数 (12, 19, 26) 詩吟 (5月から始まります)	体育 (17, 24)		
<b>ちゅうりっぷ</b>	<b>つぼみ (1歳児クラス)</b>	<b>つぼみ (0歳児クラス)</b>	
●新しいお友達の名前や自分のロッカー、靴箱の場所を覚えよう ●地域散歩や戸外あそびの中で春の自然にふれながら気持ち良く体を動かそう。	●保育者と十分にスキンシップをとり、安心して過ごす中で信頼関係を結ぶ。 ●地域散歩で春の自然にふれたり、テラスあそびで春の陽気の心地良さを感じる。	●不安な気持ちや、甘えを十分に受け止めてもらえる環境の中で安心して過ごす。 ●にぎる、なめる、かじるなど自分の好きな玩具でゆったりとあそべる環境の中で楽しむ。	



★生活リズム

新年度が始まりました。入園、進級による新しい環境は不安もあり、心だけでなく体も疲れやすくなります。元気に過ごせるよう生活リズムを整えていきましょう。朝は忙しいですが、「朝食」をしっかり摂るようお願いいたします。体を動かす準備や脳が働く為のエネルギーになります。

★朝の健康チェック

・朝の目覚め ・食欲 ・顔入り ・機嫌 ・体温 を確認しましょう。



戦時中、せいたくは敵だ」という政府のスローガンがあった。その標語が書かれたポスターが街の電柱や壁などにベタベタ貼られていたのを『ちこそうさん』というNHKの連続テレビ小説で見たことがある。通行人がそのポスターを見ながら苦笑するシーンがあった。誰かが敵」という字の前に「素」という一文字を落書きしていたのだ。

中略

贅沢」と言うと、限度を超えてお金や物を使う」というマイナスイメージを持つ人が多い。環境破壊も人間が贅沢な生活をするようになった結果かもしれない。そんな「質の低い贅沢」は論外として、そもそも人間だけが、必要最低限の生活から抜け出して、「良質な贅沢」を手に入れるために生きてきた。

中略

人間はたとえ何不自由な生活であつたとしても、未来に夢や理想や希望を抱いて、何かを創造したり、誰かの助けをしたり、何かに挑戦していないと、空きている」という実感を持つことができない。

おしゃれをすること、快適な家に住むこと、少し高くても体にいいものを食べること、旅行をすること、映画館やコンサートに行くこと、読書をしたり講演会に行つて学ぶことなど、そんな「素敵な贅沢」が人を幸せにし、人生の質を高め、文化・文明の発展のみならず、経済発展の背景にあるのは間違いない。すべての職種、すべての職業の中で、「贅沢」に関わっていないものは一つとしてないだろう。

おしゃれなんてしなくても生活できるし、勉強などしなくても生きていけるし、映画は観なくても別に困らない。それでもそんな贅沢を求めるのは、私たちの心がそれを喜び、欲するか他に他ならない。

「素敵な贅沢」は、自分だけでなく周りも豊かにし、いい社会をつくる。

みやぎき中央新聞 2019.1.14号

編集長 水谷謹人氏の文章より

※本紙への掲載のために、一部改訂中略しました。

